

東洋陶磁学会 2010年(平成22年)度 事業報告

総会

日時 平成22年5月15日(土)午後1時～

会場 東京藝術大学美術学部 中央棟2階第3講義室
(台東区上野公園 12-8)

特別報告『世界の陶磁史研究動向』

「日本:【九州近世陶磁学会】世界に輸出された肥前陶磁」大橋康二

「中国:【中国早期白瓷、白釉彩瓷専門学術研討会】及び

【中国紅緑彩瓷器専門学術研討会】参加報告」小林 仁

「韓国:ソウル市内の近代遺跡から出土する陶磁器について」片山まび

大会(参加者 58名)

日時 平成22年10月23日(土)・24日(日)

会場 MIHO MUSEUM (滋賀県甲賀市信楽町桃谷 300)

共催 MIHO MUSEUM

テーマ 「中世陶器」

日程

10月23日(土)午後1時30分～

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 竹内順一
- ・MIHO・MUSEUM館長挨拶 辻 惟雄
- ・甲賀市副市長・信楽陶芸トリエンナーレ実行委員会実行委員長挨拶 安田全男

・研究発表

「中世のやきもの魅力発見」 畑中章良

・信楽窯跡出土遺物鑑賞(講演会場)

・見学会

特別展『古陶の譜 中世のやきもの—六古窯とその周辺—』

10月24日(日)午前10時30分～

・基調発表

「中世陶器研究の新段階」 井上 喜久男

・研究発表

「思想としての中世陶器」 森 孝一

「中国陶磁と日本中世陶器」 関口 廣次

「南蛮焼締め陶と日本の焼締め陶」 赤沼 多佳

- 「高麗陶磁と日本中世陶器」 吉良 文男
・最新中世窯跡情報
「能登国(石川県)志加浦窯」 垣内 光次郎
「陸奥国(岩手県)花立窯」 八重樫 忠郎
・シンポジウム「中世陶器研究の新段階」
司会:井上喜久男・弓場紀知

研究会 4 回

4 月 24 日(土)1:30 pm 九州国立博物館

共 催:九州国立博物館

特別展「パリに咲いた古伊万里の華」(4 月 6 日～6 月 13 日)

テーマ:「輸出伊万里」について

古橋千明(九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室)

「輸出向け伊万里・金襴手様式の展開における清・康熙年間の五彩磁器の影響について」

藤原友子(佐賀県教育庁社会教育・文化財課)

「ヨーロッパへ輸出された古伊万里の器種とその変遷について」

7 月 31 日(土)1:30 pm 東京藝術大学美術学部

長江惣吉(陶芸家)「曜変の再現制作の研究、その光彩について」

12 月 4 日(土)1:30 pm 三井記念美術館

今井 敦(東京国立博物館)「元青花の成立に関する試論」

片山まび(東京藝術大学)「“高麗青磁”研究事始—山吉盛義と幻の高麗青磁コレクション—」

2011 年

1 月 30 日(日)1:30 pm 東京国立近代美術館(本館)講堂

五味良子(名古屋市立博物館)「ルックウッド・ポタリーのジャポニズム」

花井久穂(茨城県陶芸美術館)「明治輸出工芸の転換期—美術品から日用品へ」

栄木正敏(陶磁器デザイナー)「陶産地と私のデザイン」

前田正博(陶芸家)「自作について」

学会誌

第 40 号:平成 23 年 3 月 31 日発行

「丹波焼」(第 37 回大会発表を中心に)

会報

第 71 号:平成 22 年 7 月 15 日発行(考古編)

第 72 号:平成 22 年 9 月 30 日発行(総会記念講演編)

第 73 号:平成 23 年 3 月 3 日発行(大会記念講演編)

常任委員会

第1回:平成22年4月11日 於出光美術館

第2回:平成22年5月15日 於東京藝術大学

第3回:平成22年10月23日 於MIHO MUSEUM

第4回:平成23年3月6日 於出光美術館

編集委員会

会員拡充

その他

学会誌バックナンバー・『東洋陶磁史—その研究の現在—』配布